

- 問1 15世紀ごろ、首里城を拠点とした琉球王国は、東アジアや東南アジアを結ぶ海上交通の要所として繁栄しました。この時期に琉球が行っていた貿易の仕組みとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 中国の皇帝に対して貢ぎ物を届ける朝貢貿易のみに専念し、民間による他国への品物の転売は一切行わなかった。 | 2. 日本から輸入した銀や銅を国内で加工し、刀剣や陶磁器などの工芸品として東南アジアへ輸出する加工貿易を主力とした。 | 3. 江戸幕府から渡航許可証を得た朱印船を東南アジアへ派遣し、日本産の米と現地の香辛料を直接交換する貿易を行った。 | 4. 中国、日本、東南アジアの諸国と広く交易を行い、ある地域から輸入した品物を別の地域へ輸出する中継貿易を行った。 |
|--|--|---|---|
- 問2 室町時代に農民たちが借金の帳消しを求めて起こした「土一揆」において、酒屋や土倉が襲撃の対象となった理由と、その際に行われた具体的な行動として正しいものはどれか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 高利貸しへの不満から、借金の証文を破り捨てるなどして借金の無効化を狙った | 2. 特権的な商工業者による独占に反対し、自由な商売ができるよう訴えた | 3. 幕府の役人と癒着していたことに抗議し、新たな村の掟を認めるよう要求した | 4. 年貢の取り立てを厳しくした代官を追放するため、武器を奪い取ろうとした |
|---|-------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問3 かつて琉球王国で鑄造された鐘には「舟をもって万国の架け橋となり」という銘文が刻まれていました。この銘文が示している当時の琉球王国の状況として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 明との間でのみ勘合を使用した貿易を行い、東南アジア諸国との交流を制限していた。 | 2. 東南アジアや日本、明などを船で行き来し、各地の特産物を取り出す中継貿易で繁栄していた。 | 3. 西洋諸国から鉄砲や火薬を輸入するため、南蛮船が頻繁に來航して賑わっていた。 | 4. 日本の支配下に入り、日本の認めた船だけが限定的に海外渡航を行っていた。 |
|--|--|--|--|
- 問4 室町時代、農民たちが自衛や用水路の管理のために団結し、自治的な村の運営を行うようになりました。このような村において、有力な農民たちが集まって「寄合」を開き、独自に定めた「おきて」に基づいて運営された組織や制度の説明として、適切なものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 領主の命令にのみ従い、農民同士の話し合いは禁じられていた | 2. すべての農民が武士の身分を得て、独自の軍隊を組織した | 3. 五人組などの組織を作り、用水の管理や村の自治を共同で行った | 4. 班田収授法に基づき、政府から配分された土地の管理を行った |
|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
- 問5 足利義満が明（中国）との間で開始した日明貿易では、「勘合」と呼ばれる札が使用されました。この札が導入された主な目的として適切なものはどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を目的とした宣教師の入国を阻止するため | 2. 正式な貿易船と、倭寇（わこう）と呼ばれる海賊船を区別するため | 3. 輸入品である鉄砲やキリスト教関連の物品に高い関税をかけるため | 4. 明の通貨である宋銭を日本国内で流通させることを禁止するため |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
- 問6 鎌倉幕府を倒した後に始まった「建武の新政」が崩壊し、足利尊氏と対立したことで京都を離れ、奈良県の吉野において自らの正統性を主張する朝廷を開いた人物は誰か、次の中から選びなさい。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 足利義満 | 2. 桓武天皇 | 3. 後鳥羽上皇 | 4. 後醍醐天皇 |
|---------|---------|----------|----------|
- 問7 室町幕府の第8代将軍であり、自身の後継ぎ問題をきっかけの一つとして1467年からの応仁の乱を招いた人物は誰ですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義昭 | 2. 足利義政 | 3. 足利尊氏 | 4. 足利義満 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 讃岐国などの守護を務め、3代将軍足利義満の幼少期に彼を補佐して幕府の政治基盤を固めた細川頼之が就いていた、室町幕府の最高職として正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|----------------------|--------------------|-------------------------|
| 1. 幕府の侍所の長官である所司 | 2. 政所において財政や訴訟を司った執事 | 3. 将軍を補佐し政務を統括した管領 | 4. 鎌倉府において鎌倉公方を補佐した関東管領 |
|------------------|----------------------|--------------------|-------------------------|
- 問9 室町時代、農民が自立性を高める中で形成された、自分たちで定めたルールに基づき用水の管理や共同作業を行う自治的な村の組織を何と呼びますか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|------|
| 1. 問 | 2. 寄合 | 3. 座 | 4. 惣 |
|------|-------|------|------|
- 問10 室町時代後期の京都における「町衆」の活動のあり方について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 幕府や守護大名の命令に完全に従い、町を管理された | 2. 農村部で結成された惣村と連携し、武士に対して一揆を主導した | 3. 特権的な商人の集まりとして、外国との貿易のみを目的とした | 4. 自ら自治組織を形成し、都市の警察的な役割や運営を担った |
|-----------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
- 問11 室町時代に起きた「土一揆」について、その背景や仕組みを説明した文として正しいものを選びなさい。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 新田開発を目的として、農民が幕府の許可を得て集団で土地の開墾を始めた。 | 2. 有力な農民を中心に形成された自治組織が、結束して借金の帳消しなどを要求した。 | 3. 幕府が関所を廃止したことに反対した商人が、物資の流通を止めるために起こした。 | 4. 大名が新しい鉱山を開発するために、周辺の農民を強制的に動員して行われた。 |
|--|---|---|---|
- 問12 室町時代、農村において農民たちが灌漑（かんがい）用水の管理や自衛、裁判などを行うために結成した自治組織を何といいますか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|--------|-------|
| 1. 寄合 | 2. 惣 | 3. 五人組 | 4. 問屋 |
|-------|------|--------|-------|
- 問13 1428年、近江（滋賀県）の運送業者である馬借の蜂起をきっかけに、周辺の農民たちが結束して京都などの高利貸しを襲撃しました。この時、農民たちが武力行使によって求めた「借金の帳消し」を指す言葉として、最も適切なものはどれか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|-------|
| 1. 楽市・楽座 | 2. 地租改正 | 3. 年貢の減免 | 4. 徳政 |
|----------|---------|----------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 中国、日本、東南アジアの諸国と広く交易を行い、ある地域から輸入した品物を別の地域へ輸出する中継貿易を行った。	15世紀の琉球王国は、明（中国）を中心とした朝貢貿易のネットワークを利用しながら、地理的な利点を活かして「中継貿易」を発展させました。自国の産物だけでなく、日本、中国、東南アジアの各地域から輸入した品物を、さらに別の地域へと輸出することで大きな利益を上げ、経済的に自立した国家を築きました。
問2	答え 1 高利貸しへの不満から、借金の証文を破り捨てるなどして借金の無効化を狙った	生活に困窮した農民たちは、団結して「徳政（借金の帳消し）」を求める土一揆を起こしました。彼らは高利貸しを行っていた酒屋や土倉を襲い、物理的に借金の証拠をなくすために借金の証文を破棄したり、質入れしていた品物を取り返したりしました。
問3	答え 2 東南アジアや日本、明などを船で行き来し、各地の特産物を取引する中継貿易で繁栄していた。	琉球王国は「万国の架け橋」と称されるように、自国の船で明や日本、東南アジア諸国を結び、各地域の品物を仲介する中継貿易を盛んに行いました。
問4	答え 3 五人組などの組織を作り、用水の管理や村の自治を共同で行った	中世の村々では、農民たちが自発的に結びつきを強め、自治組織を形成しました。寄合（よりあい）と呼ばれる会議を通じて、水路の清掃や祭礼の運営、さらには村の規律（おきて）を決定しました。このような自治的な村の形態は「惣村」とも呼ばれますが、内部では有力農民を中心としたグループによる共同管理が徹底されていました。
問5	答え 2 正式な貿易船と、倭寇（わこう）と呼ばれる海賊船を区別するため	当時、東アジア沿岸では倭寇による略奪行為が問題となっており、明は日本に対してその取り締まりを要求していました。義満はこれに応じ、勘合を照合させることで正式な朝貢船であることを証明する仕組み（勘合貿易）を整えました。
問6	答え 4 後醍醐天皇	鎌倉幕府滅亡後、天皇中心の政治を取り戻そうとして「建武の新政」を行ったが、武士の不満を招いたことで足利尊氏に反旗を翻された。尊氏が京都に別の天皇（北朝）を立てると、後醍醐天皇は三種の神器を持って吉野へ逃れ、自らの朝廷（南朝）の正統性を主張した。
問7	答え 2 足利義政	室町幕府の將軍職をめぐる争いや、守護大名の勢力争いが結びついて起こったのが応仁の乱です。この時の將軍が足利義政であり、彼は政治への関心を失う一方で、京都の東山に銀閣（慈照寺観音殿）を建立するなど、書院造や茶の湯を特徴とする東山文化を象徴する存在となりました。足利尊氏は初代、足利義満は第3代、足利義昭は第15代の將軍です。
問8	答え 3 將軍を補佐し政務を統括した管領	細川頼之は、室町幕府の初代管領とされる人物の一人です。彼は3代將軍義満を補佐し、半濟令の施行や守護の統制を通じて幕府の權威を高めました。管領は有力守護大名のバランスを取りながら幕府を運営する重要なポストでした。
問9	答え 4 惣	室町時代には農業生産力の向上を背景に農民の地位が上がり、有力な農民を中心に「惣」と呼ばれる自治組織が作られました。彼らは「惣村（そうそん）」を構成し、村独自の掟（おきて）を定め、山林や用水を共同で管理するほか、領主に対して年貢の減免を求めるなどの団結力を持っていました。
問10	答え 4 自ら自治組織を形成し、都市の警察的な役割や運営を担った	町衆は、自分たちの住む町を単位として団結し、戦乱による混乱から身を守るために防衛や裁判、公共事業などの自治を行いました。これは同時期の農村において農民たちが「惣村」を形成して自治を行った動きと並び、中世社会における自律的な社会運営の重要な事例とされています。
問11	答え 2 有力な農民を中心に形成された自治組織が、結束して借金の帳消しなどを要求した。	15世紀になると、農民たちの自立性が高まり、惣村という組織を通じて団結を強めました。彼らは独自のルールで村を運営するだけでなく、高利貸しを行っていた土倉や酒屋を襲撃し、実力行使によって借金の帳消しを認めさせる活動を展開しました。これが土一揆の主な実態です。
問12	答え 2 惣	室町時代になると、生産力の向上を背景に農民の自立が進み、村ごとに団結して運営を行う自治組織である「惣（惣村）」が作られました。これに対し、五人組は江戸時代に幕府が農民を統制するために設けた組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問13	答え 4 徳政	室町時代の中期、借金に苦しむ農民たちは「徳政」を求めて集団で蜂起する土一揆を起こしました。農民たちは酒屋や土倉といった高利貸しを襲い、借金の証文を破棄したり奪い取ったりすることで、実力で債務を無効にさせようとしていました。この時、年貢を減らすことではなく、借金をなくすことが主な目的であった点に注意が必要です。